

## 今週のトピック – 2015年8月24日

中国がリスク資産の下落をけん引するなか、S&P500指数も、調整局面入りしたダウ指数の動きに追随する可能性があります。

### 【調整局面入り】

ダウ・ジョーンズ工業株30種平均指数(DJIA,ダウ指数)は先週、2015年5月19日に付けた直近最高値から10%以上も下落し、調整局面に入りました。今週のチャートにおいても調整局面の定義を、「直近最高値からの10%以上の下落」としています。

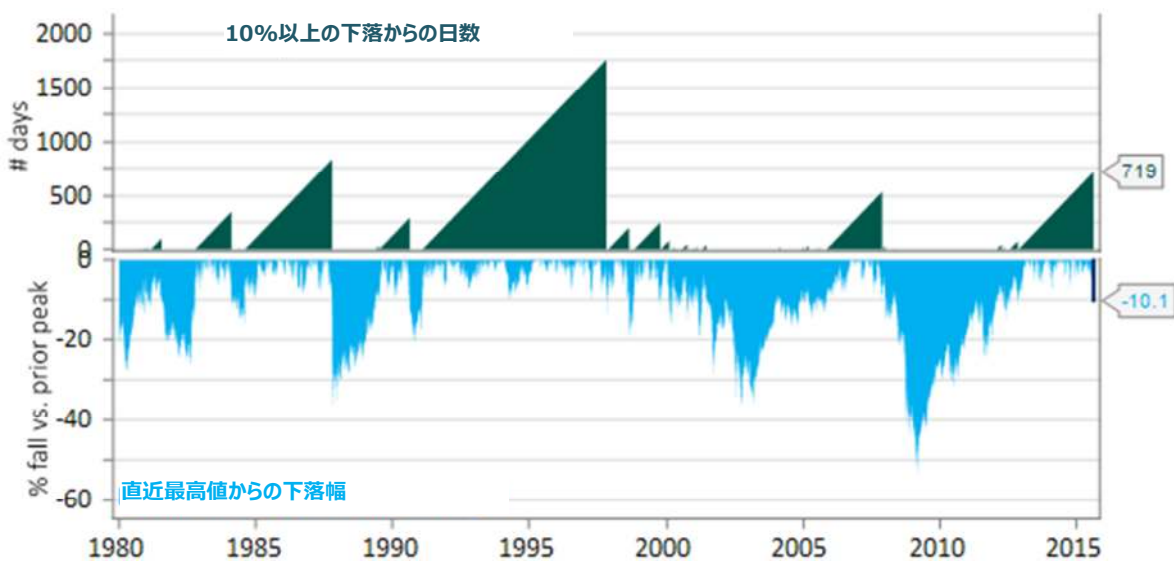
チャートによれば、前回の調整局面から直近の調整局面に至るまで719日(取引日ベース)が経過しています。S&P500指数は先週、ダウ指数と同様に6%近く下落しましたが、最高値からは7.5%程度下落に留まっています。ただし、市場が中国主導のグローバルな不況に対する懸念を高めリスク資産を再評価するなか、S&P500指数もダウ指数と同様に調整局面入りする可能性が高いと見ています。



**デビッド・ライリー**

パートナー兼クレジット戦略ヘッド

図1. 1980年からのダウ・ジョーンズ工業株指数の調整局面



出所: Macrobond, Bloomberg, BlueBayの計算に基づく; 2015年8月21日

注意: (1) 「調整局面」の定義は様々で、「(直近高値に達しなくても) ある一定期間の上昇局面ののちの10%以上の下落」などとされる場合もあります。